

昭和31年2月20日第三種郵便物認可 平成30年2月15日発行(木曜日発行)(2月7日発売)第63巻第6号

# 週刊新潮

2月15日梅見月増大号  
特別  
定価 420円

五輪「羽生結弦」リハビリ内幕90日



6

最先端医療情報 名医の先進治療 No.2 関西編①堺市 永久保存版



**小児科林医院院長 林 かおる** (はやし・かおる)  
医学博士。1998年大阪市立大学医学部大学院修了。同大医学部付属病院小児科研究医を経て2001年、小児科林医院開業。小学校校医、幼稚園・保育園園医。堺看護学校・国立近畿中央病院リハビリテーション学院・健康福祉大学他非常勤講師、堺市医師会理事、大阪府医師会代議員・広報委員、堺市子ども虐待連絡協議委員など歴任。

人とのやり取りを学ばない子どもは情緒が不安定であり、社会性の発達に支障

**ネット利用で巧妙化するいじめ**  
虐待や暴力犯罪、子どもに限らずいじめは常に社会問題となるどころです。その原因は様々で簡単に述べるとはできませんが、虐待・いじめをする側の人間には、人格形成さ

れる時期や心の成長期の家庭環境に問題があったことも原因の一つと考えられます。家庭・学校・社会の中でのストレスを、自分より弱い立場の人や動物をいじめたり虐待することや発散し、ゆがんだ優越感を感じ

る。最近のいじめの特徴として、携帯の学会でも日本小児科学会でも子ども

の長時間の視聴を避けるように提言しています。

現代の社会生活においてとても便利なツールではありますが、脳が未発達な子どもには人としての本来の成長の妨げになるということを大人がもっと考えていくべきだと思えます。戸外で遊ぶことが少なくなると現代の子どもたちですが、自然の植物、動物に接する事、本来の子ども同士の遊びを通じての仲間作り、家



## 小児科林医院

### いじめ等ゆがんだ優越感の背景にある携帯・SNS優先の現代社会を考える

近年、減少傾向にある小児科の診療所を開き、幅広く活躍している大阪・堺市の『小児科林医院』院長・林かおる医師。小児科医歴26年のベテランがいま取り組んでいるのが、ゲーム障害などに代表されるスマホやゲーム機に知らぬ間に縛られてしまっている母親や子どもたちのサポート。WHO(世界保健機構)でも新たな疾病として加える見通しだ。超先進国特有のそれらへの関わり方の改善は、関係者が本気で取り組むべきと警鐘を鳴らす。

### 「ママスマホになりたい」

最近話題の子どもの言葉です。スマホばかり見て自分の方を見てくれない子供の悲痛な叫びです。私の診療所の待合でも子どもをほったらかしてスマホしか見えていない保護者も数多くいます。授乳中でも約半数の人が携帯、メールを打っているという報告もあります。そのような家庭であれば子どもを育てる時も早い時期からテレビ・DVDを見せコンピュータやゲーム機を与えているので

う。実際、小学生時から使用している携帯のラインのやりとりで1日何百件ものメッセージが届き、返答しないや仲間はすれにされるからと勉強・睡眠の時間も引き裂かれ、がんじがらめになっている子どもの相談もよく受けます。

庭での温かい会話が、他人への優しさ、思いやりの気持ちを育て、自己より弱いものを慈しむ心を育てます。無機質な環境からは人間らしい心は育ちません。授乳のときは赤ちゃんの顔、表情をよく見てあげてください。優しい声で子どもに絵本を読んでもあげてください。幼稚園、学校であつたことをよく聞いてあげてください。多々見られる自己本位で弱者を平気で傷つける行為、事件は、元をたせばその人の成育歴が大いに関係しているということを私たち医療関係者・教育者・行政も含め大人が本気で考えていかないとけない大きな課題だと思っています。最新医療ではなく子育ての昔からの根本だと思えますが、現代そしてこれからの未来を考えると、もう一度考え直さないとけない時期に来ているのではないのでしょうか。(談)

**小児科林医院**  
<http://kids-hayashi.com/>

診療◆午前9時-12時(月~土) 午後5時-7時(月・水・金) ※午後3時~5時(月・水・金) 予防接種、健診、特殊外来のみ。 休診日◆火・木・土の午後、日・祝 所在地◆大阪府堺市堺区東雲西町1-3-9 駐車場有※JR堺駅1分。 電話◆072-282-8445

小児科林医院 検索

\*ゲーム障害とは、オンラインゲームなどへの過度な依存で日常生活に支障をきたす疾病。世界保健機関(WHO)は、2018年1月、病気の世界的な統一基準である国際疾病分類第11版(ICD-11)の中で、新たな疾病として加える見通しだと発表した。